

生活応援だより～観葉植物の育て方

簡単そうで難しいんです観葉植物は。

サンセベリアの育て方

冬越温度	10℃
原産	北アメリカ
分類	観葉植物
別名	チトセラン
ポイント	1. 乾燥に強い分、過湿には弱い 2. 真夏以外はよく日光に当てて育てます 3. 冬は水を断って耐寒性を強くします
難易度	易しい
概要	乾燥や暑さに強く、性質が丈夫で育てやすい観葉植物です。 水のやりすぎと冬の低温に気をつけて育てれば、手間はかかりません。



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■	■	■	■	■	■	← 太陽に良く当てる →			■	■	■
				半日陰 →		■	■	■			
	水遣り →	■	■	■	■	■	■	■	■		
		肥料 →	■	■	■	■	■	■			
		株分け →	■	■	■	■					

かかりやすい病害虫

病気: 特になし 害虫: ハダニ

季節 日常のお手入れ

丈夫な植物なので特に気をつかう必要はありませんが、時々水で塗らしたティッシュで葉を拭いてあげましょう。

日当たり 置き場所

よく日光に当てて育てます。高温の気候を好みますので5月～9月は屋外の日当たりの良い場所で育てます。但し、西日や直射日光は強烈すぎますので真夏は半日陰の場所で育てるようにしましょう。丈夫なサンセベリアも寒いのは苦手です。越冬温度は10℃以上は必要です。10月以降は室内に取り込んで日当たりの良い場所で育てます。

水やり 肥料

サボテンのように乾燥に非常に強い植物なので水を与えすぎると腐ります。土の表面が白っぽく乾いてから与える程度で十分です。冬に関しては多少回数を少なめに水やりを行います。一般的には水を一切断って暖くなるまで水を与える必要はありません(冬期に水を与えないことで耐寒性が増します)。

用土

水はけの良い土なら特に選びません。観葉植物の培養土を使用します。

植え替え

生育も旺盛で根茎が伸びる品種は2年もすれば鉢が割れるほど根が広がります。植え替えの時期としては、5月～8月の高温時期に行います。すぐに鉢がいっぱいになってしまいますので二周りくらい大きな鉢に植えても良いでしょう。大きくしたくない場合は株分けを行います。

ふやし方

株分けと葉挿しで増やすことができます。適期は5月～8月です。葉挿しは一枚の葉を横に(葉に対して垂直に)3から4つに切り分けて切り口を川砂に挿しておくとやがて根が出て新芽がふきます。但し葉に模様の入っている品種の場合、新しく出てくる葉は模様が消えてしまいます。

観葉植物の基礎

観葉植物の冬越し

■もともと暖かい国の植物ですからね・・・

せっかく観葉植物をいただいてもすぐにダメにしてしまう・・・ということありませんか？観葉植物はお部屋のインテリアグリーンとしてよく利用されます。手間もあまりかからず丈夫なものが多いからです。「植物育てるのも簡単じゃん」って思うかもしれませんが、それは暖かい時期の話で、寒い冬になると油断すると一夜にして枯らしてしまうことがあります。

■自分が育てている観葉植物の耐寒温度を知りましょう

植物の種類によって耐寒温度は様々です。だから自分が育てている植物がどの程度の耐寒温度があるかを知ってあげる必要があります。5℃程度で良いのであれば室内に入れて置きさえすれば特に問題ありません。しかし10度以上必要なら部屋の中でもなるべく暖かい風の通らない場所に置かなければいけません。植物は自分で暖かい場所に移動する事はできませんから・・・。

■置き場所を工夫するだけで大分違います

例えば窓際は昼間は日光が当たってぽかぽか暖かくて良いのですが、夜は外気と一番近い場所になるため家の中で一番寒い場所になります。10度以上の気温差になります。ですから昼間は暖かい窓際に置いて、夜はなるべく部屋の中央に移動してあげるという工夫が必要です。



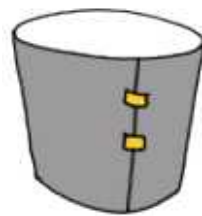
ミニ観葉植物なら発泡スチロールに入れて上からガラスか何かでフタをしてもOK

■お金をかけずに手間をかけましょう

家の中では保温できても10℃が限界です(暖房は植物が乾燥してしまい逆効果になりますので、暖房器具を使う部屋には置かないのが理想的です)。小さい鉢ならば上記で書いたようにスッポリ箱に入れるやり方も良いですが、大きい鉢の場合は新聞紙をまいたり、ビニール袋をすっぽりかぶせたりすれば、2℃～4℃は温度が違います。しかしこれはあくまで夜の保温方法ですから昼間は窓際の日溜りなどに。



新聞紙を丸めます



かぶせるだけで簡単に保温できます



■水やりや肥料はどうする？

気温が低いと生育が鈍るわけなので、肥料も水も要求量が少なくなります。秋頃から少しずつ水やり回数を減らします。肥料も生育適温以下の気温しか保てない場合は特に必要ありません。

また、暖房のある部屋は乾燥しやすく植物全体が乾燥状態になり、水切れをおこしやすくなります。霧吹きで葉に水をかけて湿度を高く保ちましょう。